

2019年度
秋

まほろばだより

奈良県橿原市大久保町 320 番地 11
奈良県社会福祉総合センター内
FAX 0744-21-7888 TEL 0744-21-7880
HP <http://www.nds-center.nara.jp>

2019（令和元）年度 合同研修会

手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員を対象とした研修会を
7月21日（日）県社会福祉総合センター 研修室で行いました。

熊本県聴覚障害者情報提供センター 元所長の 小野 康二 氏をお招きし、
「熊本地震の経験をもとに聴覚障がい者の支援を考える」と題して
ご講演いただきました。参加者は、県聴覚障害者協会理事を含む 約 150 名。
安全だといわれていた熊本を、震度7の地震が襲ったのは、2016年4月。

災害時、聴覚障害者が困ったことは何か、必要とした物や役に立った情報はどのようなものだったのか、また、
情報提供施設としての取り組み・支援体制についてなどを、詳しく報告していただきました。

震災直後は、避難所の場所やその利用方法、救援物資の配給情報などがわからなかったり、
周りとのコミュニケーションがとれなかったりと、聴覚障害者にとっての困りごとがたくさん
あったそうです。そのためチームを編成して避難所を訪問。視覚的コミュニケーション保障や
必要とされている情報提供を行ったとのこと。ただ今回は特に、余震を恐れて避難所に行かず車中泊される方が
多かったため対象者の把握に時間を要したので、その改善が今後の課題だとおっしゃっていました。

講演を拝聴してわかったのは、災害時だからといって特別な手立てがあるわけではないということ。
平常時におけるシステム構築の重要性と、現状を見直し常に改善していくことの大切さに気づかされました。



今回の震災では、コミュニティFM局が臨時災害放送局となり、その放送内容を
インフォメールとして情報発信したそうです。また、電話リレーサービスの拡張
として、遠隔手話通訳による安否確認・相談支援等を行ったとのことでした。
災害に関しては、これまで対策本部などで話し合われるようなことはあっても、
一堂に会して理解を深めるという場がなかったように思います。これを機会に、
いつでもどこでも活用できる支援について、改めて検討が必要だと感じました。



要約筆記新登録者対象ブラッシュアップ講習

これまで当県の要約筆記者認定試験は、地域の実情に合わせた内容で行って
きましたが、2018年度より全国統一要約筆記者認定試験を導入しました。
この試験に対応するため、要約筆記者養成講座後のパワーアップ講座では、
これまでよりも更に、試験に特化した学びを深めてきました。
そのため、今年度から登録となったパソコン要約筆記者は、
関係入力を学ぶ機会が少なく、現場での混乱が予想されます。
そこで、関係の技術と現場対応力を高めるための、ブラッシュアップ講習を
行うこととなりました。現場を含む約半年間、
新登録者4名の、更なる成長を期待しています。



映像制作スタッフ募集

当センターでは、映像制作に関わるスタッフを募集しています。
興味のある方・意欲のある方は、奮ってご応募ください。



睡眠と健康 / 手話で絵本の読み聞かせ



睡眠と健康

7月31日(水) 当センター研修室において、奈良労働局より 尾形 賢一 氏(上級睡眠健康指導士)をお招きして「睡眠と健康」をテーマにした講座を行いました。参加者は、22名。

世界27ヶ国のうち、日本人の睡眠時間は最下位から2番目で、平均7時間43分。3人に1人が睡眠にトラブルを抱えており、大きな社会問題となっているそうです。一日を元気に楽しく過ごすためには、睡眠がとても大切になってきます。体だけでなく、脳までしっかり休まるような質の高い睡眠をとることで、脳が正常な働きを保てるようになると、お話ししてくださいました。



手話で絵本の読み聞かせ

8月1日・22日の2回、当センター研修室にて、奈良県立ろう学校教諭 小林 由季 氏を講師にお迎えし、手話で絵本の読み聞かせを行いました。参加者は、両日あわせて40名。周知期間が短く心配しましたが、幅広い年齢層の方にお越しいただき、『音のない世界』の魅力に包まれました。

今回の題材は、1回目が「うんこ!」「でんしゃにのって」「りんごかもしれない」、2回目が「3びきのこぶた」「かちかちやま」「おしっこちよっぴりもれたろう」です。あらすじを紹介し、絵本に出てくる登場人物などの手話表現を確認してからスタート。手話が全くわからない方もいらっしゃいましたが、有名な絵本を多く扱ったので、スライドと講師の魅力ある手話を交互に見比べながら、みなさん楽しまれていました。



後半は、講師との交流会。参加者からの質問に講師が答えたり、手話で読み聞かせるときに工夫している点を説明してもらったりなど、聞こえない世界や手話の魅力を知ってもらうよい機会となりました。前回同様、読み聞かせの映像を収録したDVDを制作する予定です。都合がつかず参加できなかった方、どうぞお楽しみに!

奈良県大芸祭・障芸祭 9/1(日)~11/30(土)

昨年に引き続き、今年も「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」が一体開催されます。「障害のある人もない人も、誰もが参加して楽しめるお祭りに!」がコンセプトです。公式ガイドブックに情報保障の有無が記載されていますので、参加したいと思う行事に 通訳・字幕等が付いていない場合は、当センターにご相談ください。



お問い合わせはこちらまで
奈良県聴覚障害者支援センター
FAX 0744-21-7888 TEL 0744-21-7880

お知らせとご案内

- ◇聞こえの相談会 2019年10月6日(日)13時~16時 大和高田市市民交流センター 2階交流スペース
講演 「難聴と治療」 奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 西村 忠己(ただし)先生
体験発表 / 質疑応答 / 個別相談 *補聴器販売店・人工内耳メーカーによる製品の展示あり
情報保障(パソコン全体投影・手書きノートテイク)・ヒアリンググループ敷設あり 参加費・申し込み不要
- ◇12月7日(土)は、手話通訳者全国統一試験のメイン会場として使用するため、当センターを閉所します。
- ◇年末年始は、2019年12月28日(土)から2020年1月5日(日)まで閉所となります。詳細はHPにて。